

# 多様な連携による受入環境づくりや利便性・快適性の向上によるインバウンド観光振興

【戦略的目標『アジアに輝く北の拠点』・『森と水の豊かな北の大地』への対応】

『アジアに輝く北の拠点』では、北海道の自然環境や気候風土がアジアの中でも特徴的で、魅力的な観光資源であるとし、「これらを活用して、国内はもとより、東アジア地域を始め海外との観光交流の拡大を図ることが重要である。」としているが、一方で「観光をめぐる諸情勢は旅行者ニーズの多様化、国際競争・地域間競争の激化等著しい変化が生じており、これらに適切に対処する必要がある。」とされており、外国人観光客の増加に向け、広い北海道において移動の自由度や利便性を確保するとともに、北海道各地域において受入環境を整備することにより、インバウンド観光振興を図る戦略的プロジェクトを展開する。

また『森と水の豊かな大地』では、「地域の自然を最大限に活用し、美しい四季の風景等を保全・創出していくことにより、雄大な自然の恵みを体感できる北海道づくりを進める。」とされており、北海道の自然環境を活用し、沿道景観等の整備を行うことにより、内外の観光客に「魅力ある北海道」を提供する。

「戦略的取組」  
を取り巻く  
現状・課題

- ・ 国の観光戦略目標（2020年に向けて訪日外国人2千万人の高みを旨す）に向け、東アジア各国のNo.1訪問希望地である北海道のポテンシャル発揮が不可欠
- ・ 特に、今後の個人型・体験型観光需要やリピーターの観光客の増加に対応した北海道全体における受入環境整備が重要
- ・ 取組に当たっては観光振興に携わる多様な主体と連携、協力

- ・ 広大な北海道に分散する観光拠点の連携不足、二次交通が少なく観光地へのアクセスが悪い
- ・ 北海道独特の自然環境、広大な景観が貴重な観光資源であることを意識した整備、維持管理が不可欠
- ・ 外国人観光客の動向に目を向けると、ドライブ観光（レンタカー）需要が急増しており、これに対応した取組が必要

具体的  
戦略

## 多様な連携による受入環境の整備

## 外国人観光客の利便性・快適性の確保

### 観光資源の開発

### おもてなし

### 利便性向上

### 環境・景観の確保

### ドライブ情報等の提供

検討項目

- ・ 地域特性を活かした観光コンテンツの開発
- ・ 多様なツーリズムの促進

- ・ ホスピタリティ推進
- ・ 観光人材の育成（ガイド、外国語対応能力）
- ・ 観光支援策の促進

- ・ 拠点間のアクセス性向上
- ・ 移動時間の短縮
- ・ 道路標識の二カ国語対応
- ・ 情報提供拠点の整備
- ・ 安全性、使いやすさの追求

- ・ 地域連携、産業連携による景観形成・保全
- ・ 景観に対する付加価値

- ・ 事前知識のインプット
- ・ 地域情報・観光情報
- ・ 多言語対応
- ・ 運転技術向上のための情報

施策群

北海道らしい個性的な景観や自然とのふれあい空間の形成

食と景観を活用した地域の活性化の推進

国際会議等の誘致

グリーンツーリズム、マリンツーリズム、サイクルツーリズム等の促進

ガイドの確保・育成に向けた取組

観光関連人材の育成

翻訳サービスの展開等、観光支援策の促進

観光地アクセスの改善

冬期道路交通の信頼性向上

交通結節点における受入環境の整備

ゲートウェイの整備

環境保全・再生事業、景観形成、保全事業の推進

シーニックバイウェイの推進

緑豊かな地域づくり

冬期観光・イベント情報と雪みち情報の同時提供

多言語表記や図記号を利用した案内表示の整備

地域が輝く観光のくにづくり

「広域的な連携による魅力ある観光地づくり」を支える社会資本整備の推進

施策群の連携機関：北海道、市町村、北海道観光振興機構、シーニックバイウェイ北海道推進協議会、北海道外国人観光客ドライブ観光促進連絡協議会、民間企業 等  
日本再興戦略との対応：世界を惹きつける地域資源で稼ぐ地域社会の実現 等